

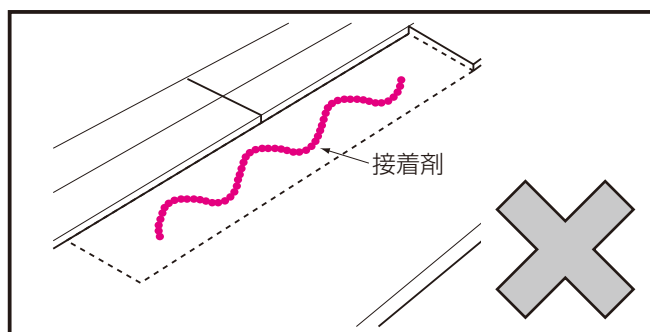
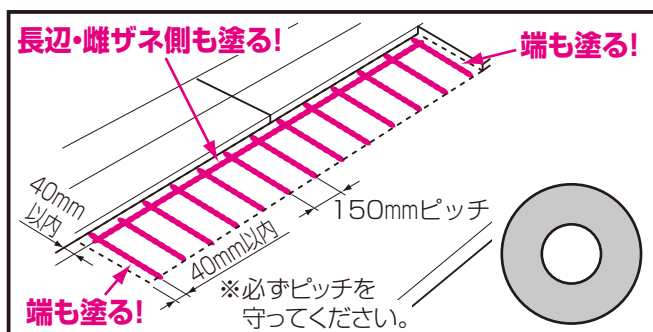


この床材は一般の合板床とは異なり、基材にリサイクル材を使用しています。水分の影響を受けやすいため、特に下記の注意事項を必ず守ってください。

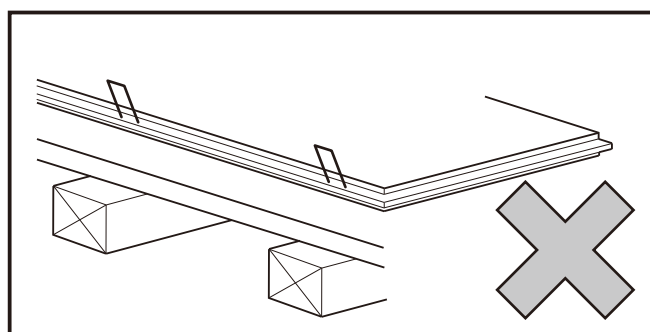
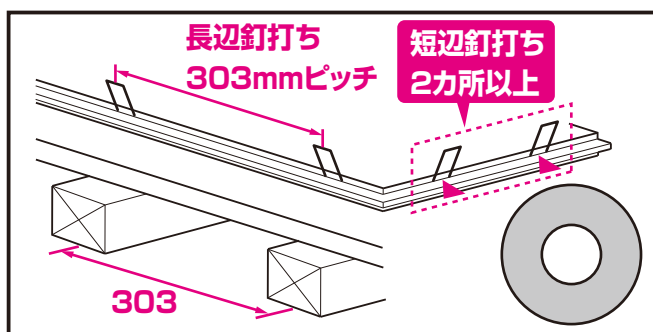
## 開梱は施工直前に！

- 環境湿度の影響を受けにくくするため、防湿梱包になっています。水漏れに注意し、開梱後は速やかに施工してください。吸湿によるソリ、曲がりなどが発生する原因となります。

## 接着剤塗布

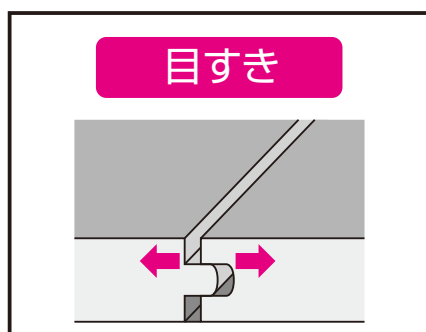
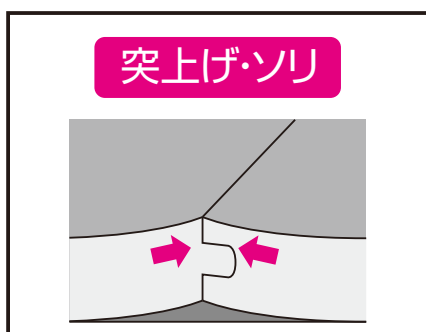
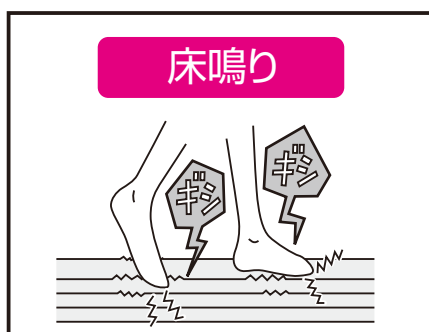


## 短辺釘打ち



## 小根太タイプの床暖房専用

上記を守らないと、以下の現象の発生原因となります。



※本施工説明書に記載以外の方法で施工されたことによる損害は、当社では責任を負うことができません。

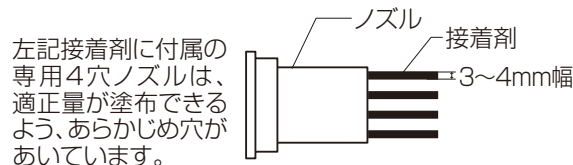
- 本製品は**木造合板捨て張り下地専用**です。  
根太組みへの直接施工及び、合板以外の捨て張り下地（パーティクルボード、石膏ボードなど）、二重床下地や遮音マット下地、コンクリート下地へは施工ができません。**床鳴りや突き上げ、目すき、段差などの原因となります。**

## 施工前のお願い

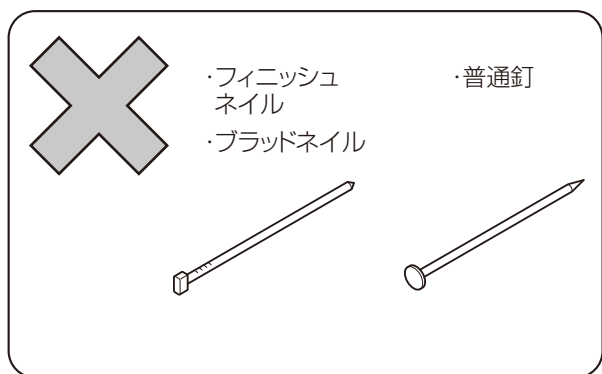
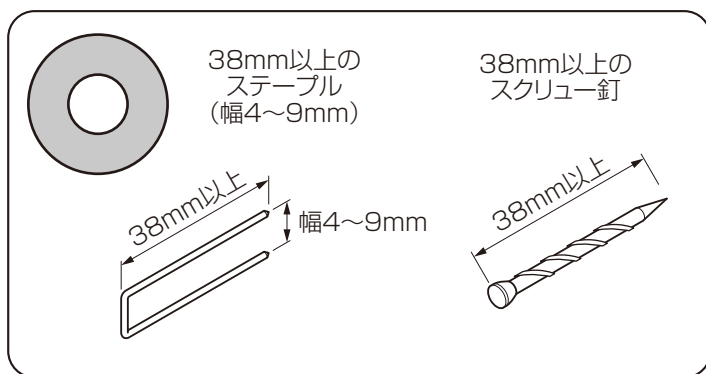
- 接着剤は下記いずれかのものを使用してください。

接着剤	品番	使用量の目安
LIXIL専用ウレタン接着剤	LZZZZ036	1.6坪/本
コニシ製接着剤	KU928-CX	1.6坪/本

※1本:760ml



- 固定は、38mm以上のステーブルまたはスクリュー釘を使用してください。



- 切断時に刃物の摩耗が早まる傾向がありますので、切断に使用する刃物・チップソーは通常の木工用よりも摩耗の少ない、「集成材/一般木材用」のものをお勧めします。

### 【市販推奨品】

- ・「日立工機」スーパーチップソー(ブラック/ブラックⅡ)集成材/一般木材用
- ・「マキタ」タフブラック一般木材・集成材用

- 施工前に各部材を検品してください。製品に不具合があった場合は、必ず施工前にお買い上げ店までご連絡ください。施工後の外観不良などによる交換はお受けできませんので、ご了承ください。
- 立掛け保管や、水が掛かったり直射日光のあたる場所に置かないでください。ソリやねじれ、引き曲がり、フクレなどの原因になります。
- 本製品は水分の影響を受けやすい材料です。洗面・脱衣所などの水濡れ頻度の高いところへの施工はお避け下さい。
- 本製品は屋内居室専用です。土足で使用する場所や、常時水濡れしたり、極端に湿度の高い場所には使用できません。
- 環境湿度の影響を受けにくくするため、防湿梱包になっています。水濡れに注意し、開梱後は速やかに施工してください。
- 高比重の基材を使用していますので、他の床に比べて重量があります。持ち運び等にはご注意ください。  
※取付け前に仮並べして色・柄のバランスを確認してください。

## 施工上のお願い

### 1 下地について

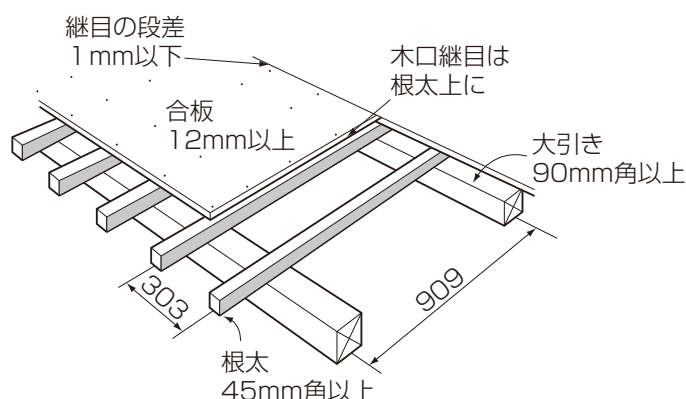
【在来工法(合板捨て張り)の場合】【図-1】

- 大引きは90mm角以上で間隔は909mm以下、根太は45mm角以上で間隔は303mmとし、含水率15%以下の乾燥したものをお使いください。
- 合板は厚み12mm以上で、含水率は14%以下のものを使用し、水平で段差のないように施工してください。(段差は1mm以内としてください。)
- 大引き、根太および合板には接着剤を塗布し、ねじ等で固定してください。
- 下地合板が濡れていたり、含水率が高い状態で床を施工しないでください。水分が床材に移行して突き上げなど不具合の原因になります。

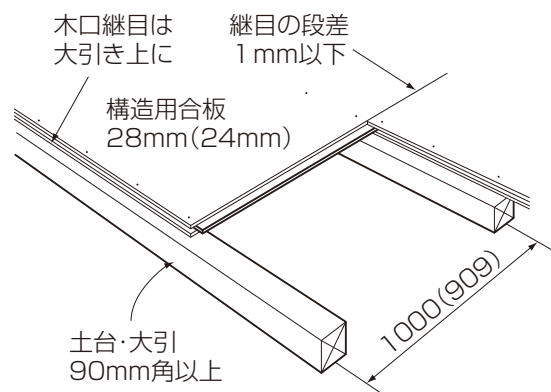
【根太レス工法(構造用合板捨て張り)の場合】【図-2】

- 大引きのピッチが尺モジュール(909mm)の場合は厚み24mm以上、メーターモジュール(1000mm)の場合は厚み28mm以上の構造用合板を使用してください。
- 含水率は14%以下のものを使用し、水平で段差のないように施工してください。(段差は1mm以内としてください。)
- 大引きおよび合板には接着剤を塗布し、ねじ等で固定してください。
- 下地合板が濡れていたり、含水率が高い状態で床を施工しないでください。水分が床材に移行して突き上げなど不具合の原因になります。

【図-1】 在来工法の場合



【図-2】 根太レス工法の場合

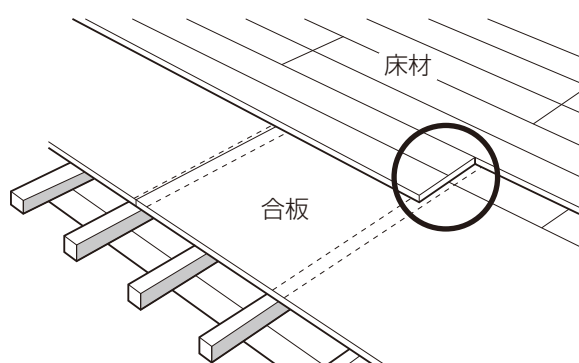


※ツーバイフォー工法(根太ピッチ455mm)の場合、15mm以上の構造用合板が捨て張りされていることを確認してください。

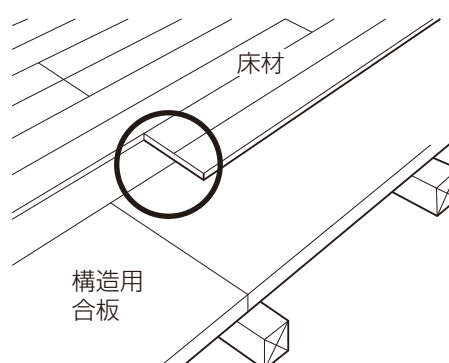
### 2 下地への固定

- 合板捨て張りの場合は根太と床材の長辺方向が直交するようにし、短辺方向の継目は根太上になるように割り付けてください。床材の継目と捨て張り合板の継目が同位置にならないようにしてください。【図-3】
- 構造用合板捨て張りの場合は、大引きと床材の長辺方向が直交するようにし、床材の継目と捨て張り合板の継目が同位置にならないように割り付けてください。【図-4】

【図-3】 合板捨て張りの場合

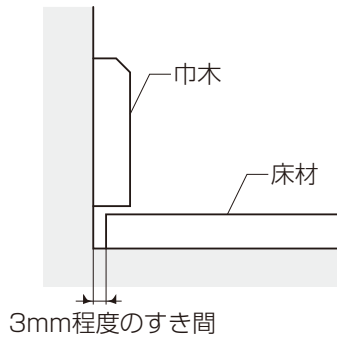


【図-4】 構造用合板捨て張りの場合

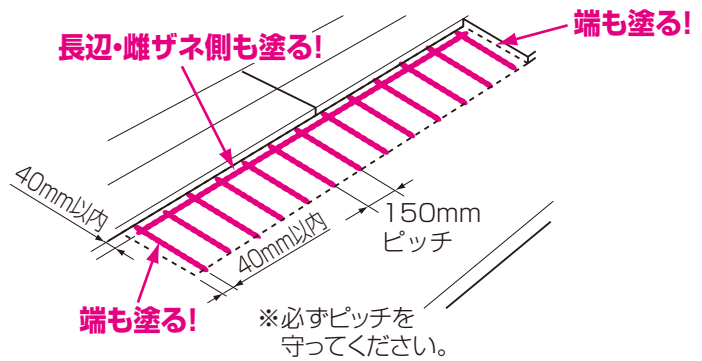


- 張り合わせは3尺ずらしのレンガ張りをお勧めします。
- 床材の伸び縮みを考慮し、壁際には3mm程度のすき間を取ってください。【図-5】
- 床鳴り、浮上りを防ぐため、必ず下地に接着剤(別売り:LZZZZ036)を塗布してください。【図-6】  
塗布位置は長辺方向雌ザネ側に縦1本と、直交方向に150mmピッチで塗布してください。
- 上り框や敷居との接続部など、床材をカットする部分は端部に接着剤を塗布して納めてください。【図-7】

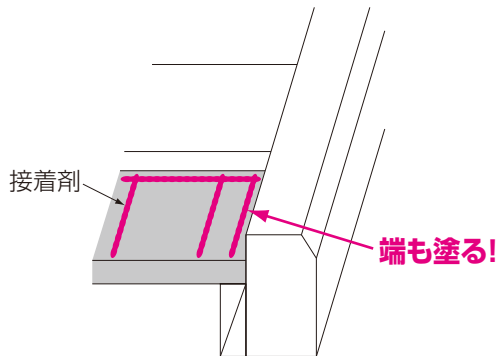
【図-5】 すき間



【図-6】 下地合板接着剤塗布位置

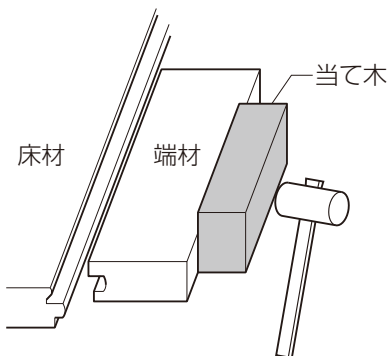


【図-7】 接着剤塗布位置

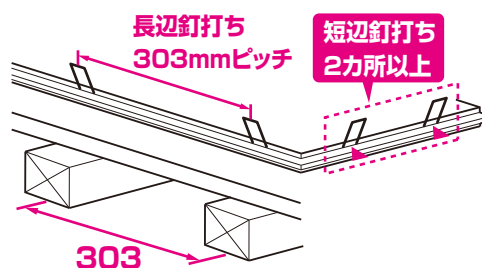


- 床材の寄せ、はめ込みの際には表面やサネを傷つけないよう、当て木を使用してください。  
※当て木をする際、床材雌ザネ側の端材を使用するとサネがつぶれにくくなります。【図-8】
- サネ部はたたき込み過ぎないようにしてください。段違いや突上げ、床鳴りの原因になります。
- 固定にはフロア専用スクリュー釘(38mm以上)またはフロア用ステーブル(38mm以上)を使用し、根太位置を狙って打ち込んでください。(構造用合板捨て張りの場合は303mmピッチ)また、床材の短辺にも2本、釘打ちをしてください。【図-9】
- 打ち込み角度は45°~50°で、釘頭が飛び出ないように打ってください。釘打ち角度が低いと表面フクレ、高いとサネ割れなどの原因になります。【図-10】

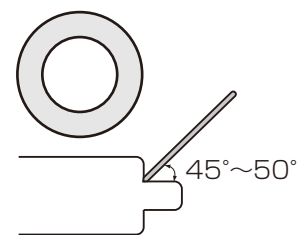
【図-8】 当て木



【図-9】 床材の固定



【図-10】 釘打ち角度

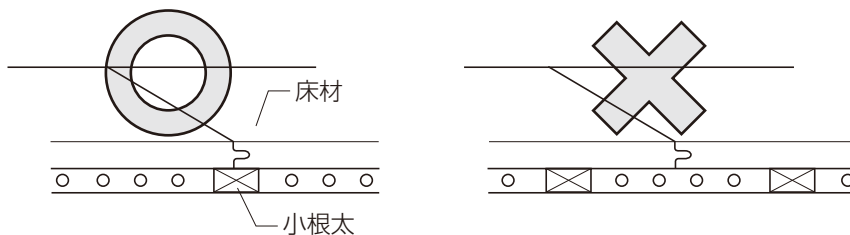


- 釘打ち機を使用する場合は、あらかじめ試し打ちなどでトルク調整を行ってください。
- フィニッシュネイルは固定強度がないので使用しないでください。
- 接着剤が表面にはみ出た場合は、硬化する前に石油ベンジンを布にしみ込ませてふき取ってください。硬化すると取れなくなります。

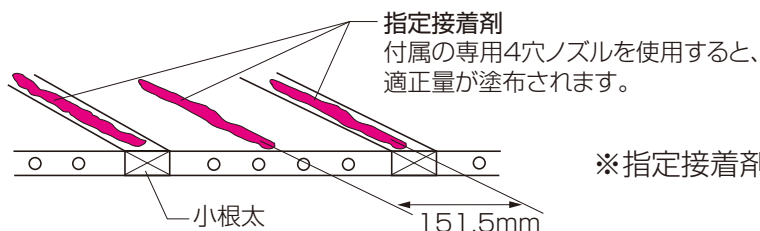
### 3 床暖房用仕上げ材として使用する場合

①床材の継ぎ目(短辺方向)は必ず小根太上にくるようにして寸法出しをしてください。

※小根太の間隔は1尺(303mm)が基本となります。



②小根太上とその延長線上および小根太と小根太の間とその延長上に1列、指定接着剤を塗布してください。(151.5mmピッチ)

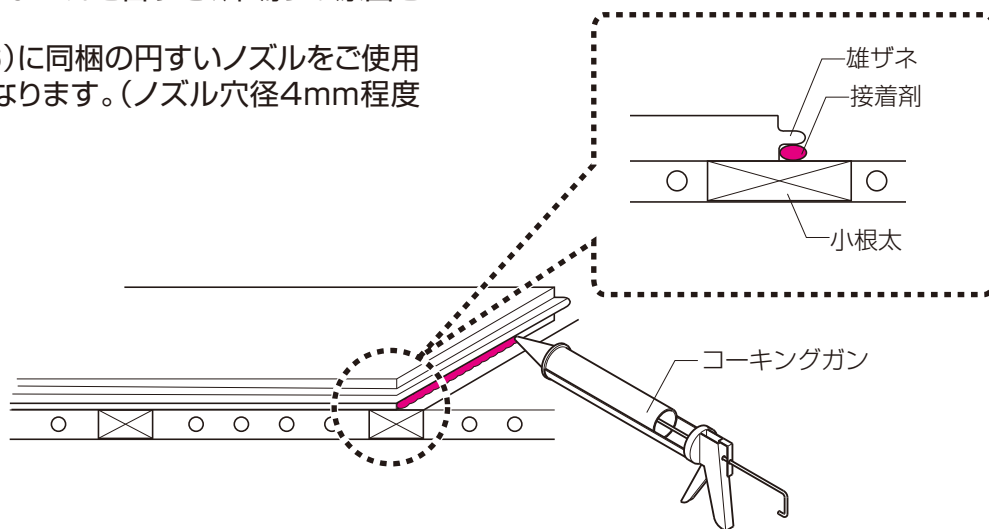


※指定接着剤：床施工用接着剤 (LZZZZ036)

③指定接着剤を短辺方向の雄ザネの下部に塗布してください。

※短辺方向に接着剤を塗布しないと目すき、床鳴りの原因となります。

※指定接着剤(LZZZZ036)に同梱の円すいノズルをご使用いただくと、塗布しやすくなります。(ノズル穴径4mm程度にカット)



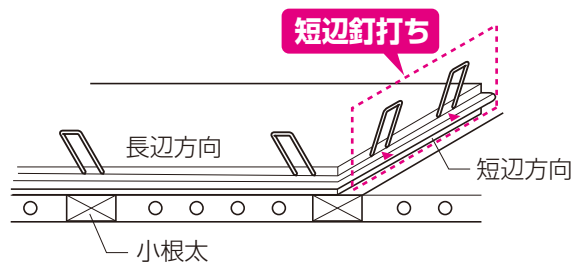
④床材は短辺方向、長辺方向に釘を打って根太に固定してください。(短辺方向2本、長辺方向各根太1本計7本)特に、短辺方向に釘を打ちませんと目すきの原因になります。

※釘はフロア専用スクリーナ釘(38mm以上)またはフロア用ステープル(38mm以上)をご使用ください。

※その他の注意事項は2 下地への固定にならぬ、取り付けてください。

※小根太付きマットの「小根太以外の部分」、その他床暖房システムの「釘打ち禁止部分」には釘を打たないで下さい。

- ・短辺方向の釘：2本
- ・長辺方向の釘：7本 (各根太1本)
- ・フロア専用スクリーナ釘38mm以上またはフロア用ステープル38mm以上 (フィニッシュネイルは固定強度が低下しますので使用しないでください。)



上記施工方法以外の方法で施工された場合の目すき・床鳴りなどの不具合は、当社では責任を負うことができません。

## 施工後のお願い

- 施工後は、木くず・砂・ゴミを完全に取除き、養生シートやベニヤなどですき間なく養生してください。その際、必ず別売りの養生テープ(LZZZZ004)をご使用ください。市販のガムテープなどは粘着力が強いため、表面材のハガレの原因となります。
- 施工中、雨の吹込みにより、床材の表面が濡れたままになると、フクレやソリの原因になります。濡れたまま放置することは避けください。
- 汚れのひどいときは、固く絞った濡れぞうきんでふくようにしてください。その後、乾いた布でふいてください。
- この床材は表面に汚れが付着しにくいよう、特殊処理を施していますのでワックスがけは必要ありません。お客様のご都合でワックスがけをされる場合は、リンレイ社の「ハイテクフローリングコート」をご使用ください。他のワックスを使用すると、不具合の原因になります。
- ワックスご使用の際は直接床にまかないでください。表面フクレや突上げの原因になります。ワックスのまき塗りによる不具合は責任を負いかねますのでご了承ください。
- ワックスの使用方法を誤ると床材に異常をきたす場合がありますので、その他の使用方法についてはワックス容器記載の使用方法をよくお読みください。
- ワックスはくり剤および溶剤(特にシンナーなどのトルエン・アセトン類を含むもの)は使用しないでください。床材を傷める原因となります。
- この床材は表面に特殊処理を施していますので、指定ワックス以外のコーティング処理を行った場合、コーティングがはがれる場合があります。指定ワックス以外のコーティング処理により生じた不具合については責任を負いかねますのでご了承ください。